

2014年4月30日

各位

小野薬品工業株式会社  
日産化学工業株式会社

### 血小板減少症治療薬に関するライセンス契約の終了について

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良暁、以下「小野薬品」）と日産化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木下小次郎、以下「日産化学」）は、2014年4月30日をもって新規血小板減少症治療薬に関するライセンス契約を終了することに合意しましたので、お知らせいたします。

小野薬品は、2007年に新規血小板減少症治療薬（NIP-022/ONO-7746）の全世界での独占的な開発・販売権を日産化学より取得し、健常人を対象とした臨床第1相試験において、安全性と有効性（強力な血小板増加作用）を確認しました。その後、抗悪性腫瘍剤投与に伴う血小板減少症患者を対象とした臨床試験を実施してきましたが、戦略上の理由により本剤の開発中止を決定しました。

日産化学は、本ライセンス契約の終了に伴い、小野薬品から開発・販売権など全ての権利の返還を受けることに加え、小野薬品がこれまで取得した非臨床試験および臨床試験に関する試験データを独占的に使用することができるため、本剤の開発継続に支障はなく、今後新たな導出先の検討を進めてまいります。

#### ○血小板減少症について：

血小板は、血液に含まれる血球成分の一つで、出血時の止血において重要な役割を担っています。例えば、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血あるいは骨髄異形成症候群等の血液疾患では、この血小板数が減少することにより出血を起こしやすい病態（血小板減少症）を伴うことから、重度の場合には生命に関わることもあるといわれております。また、がん化学療法、慢性肝疾患あるいはC型肝炎治療においてもこのような病態が認められることがあり、治療に難渋する場合もあるといわれております。

#### ○NIP-022/ONO-7746 について：

日産化学が創製した新規血小板減少症治療薬です。造血因子であるトロンボポエチンの受容体を活性化することにより血小板数を増加させる、経口投与が可能な低分子化合物です。

本件に関するお問い合わせ先

小野薬品工業株式会社 広報室 TEL：06-6263-5670	日産化学工業株式会社 経営企画部 TEL：03-3296-8320
---------------------------------------	-----------------------------------------